



MALAYSIA

安全衛生に対する意識改革に成功しました

安全衛生管理課 セーフティ・エグゼクティブ
Shanmugan A/L Sathamparam

安全衛生国家資格保持者 Green book holder
(Entitled as a Safety and Health Officer (SHO) which was given by Government)

「Go Anzen Ni!(ご安全に!)」私の勤務するSEPMでは全てがこのあいさつからスタートします。SEPMは従業員の意識改革に努め、2016年度、災害ゼロを達成しました。その原動力となった当社従業員の安全活動への取り組みと住友電工の安全点検チームのサポートについてご紹介します。

組織の見直しから始まった

当社では2013年から2年連続で休業災害が発生した過去があります。その教訓を生かすべく、経験年数、就業形態、発生部位、発生場所の要因別の傷害事例の分析を行いました。その結果、経験年数5年未満かつ外国人の傷害発生が多いこと、さらに一般作業者の作業習熟度があまり高くないことが判明。安全に対する体制の見直しを急務と考え、安全活動専任者を1名から2名に増員し、日本人駐在員とともに安全活動プログラムに全員が参加することになりました。



安全に対する体制の見直しを急務と考え、安全活動専任者を1名から2名に増員し、日本人駐在員とともに安全活動プログラムに全員が参加することになりました。

従業員の安全意識向上に尽力

目的は、私たち安全活動専任者はもちろん、全従業員が自ら安全について考える能力を養うこと、まさしく安全に対する意識改革です。まず何が重要かを学ぶための「認識」と、誰でも危険の認識を可能にする「掲示」に注力しました。当社の従業員にはネパール人など外国人も多いことから、



挟まれ・巻き込まれ事故を体感する危険体感教育、外国人向けの母国語による安全教育なども実施。言葉の壁を越えて、全従業員の安全に対する意識向上に努めました。

改善活動を徹底させ無災害を達成

当社では現場主義に基づく改善活動や点検活動に積極的に取り組んでいます。トップ巡回による現場のリスクアセスメント、外国人従業員の声を拾い上げる懇談会の開催、週末の安全パトロールなどがその一例です。安全活動専任者が作業者とのコミュニケーションを図る「Walkabout」という活動も展開しています。



住友電工の安全点検チームによる重大災害未然防止点検も重要な危険ポイントの洗い出しにつながっています。また、マザー部門と一体になって危険源の抽出と改善を繰り返し、地道な安全活動を積み重ねた結果、2016年度は無災害を達成することができました。さらに2016年度からローカルスタッフ主導で「Zero Tolerance Activity」という新たな安全活動もスタートしています。些細なことも見逃さないという強い意志のもと、これからも無災害継続に取り組んでいきたいと思ひます。



SEPMにおける《重大災害未然防止点検》に一日密着

AM 08:00 事前の机上点検にて、現場での確認ポイントを明確にする

重大災害未然防止点検は重大災害あるいは重大災害に準じる事象を未然に防ぐための点検です。現場点検の前に「重大災害未然防止チェックシート」を活用した机上点検を行い、対応が必要な作業や設備について、安全点検チームによるヒアリングを実施。海外においてはスタッフの安全に対する認識の違いがあるため、チェックシートを用いた事前打合せが非常に重要です。



PM 01:30 重大災害の芽を摘む現場点検

安全点検チームが敷地内を巡回し、設備が不安全な状態になっていないか、作業者の不安全行動につながる点がないか、また管理不備はないかなどを確認し、指摘事項があれば、現場で直接ヒアリングを行い、現状把握に努めます。また、指摘内容は作業者にその場で伝え、改善するよう促します。



PM 04:30 結果を共有し、対策をやり切る

現場点検後、点検結果の報告を行います。点検で顕在化された課題、指摘事項を全員で共有します。徹底して対策を講じ、類似設備・作業・工程がある場合には横展開を図ります。安全環境部、設備管理部は対策が完了するまでフォローを行います。



VOICE 安全点検チーム

二度と重大災害を起こさないために

「[ご安全に!]安全啓発の思いが込められたあいさつが、ここではいたるところで聞こえてきます。SEPMが無災害を達成できたのはトップダウンによる安全活動とともに、安全活動専任者を中心としたローカルスタッフによる自主的な安全衛生活動が浸透してきた証拠だと感じています。これからも安全な職場づくりのため、グローバルな視点で現場を支援していきます。」

(左から) 設備管理部 主席 衣笠 兼次 / 安全環境部 担当主席 長谷 敏男
S.E.I. Thai Holding Co., Ltd. 安全部門アドバイザー 阿部 道明



VOICE 安全活動専任者

無事故無災害という安全目標を達成し続ける

「[ご安全に!]私たちは安全活動専任者として、当社を安全な状態に保つ責任があります。自発的な行動を促す従業員参加型の取り組みをこれからも続け、無事故という安全目標を達成し、住友電工グループにおいて模範となるよう努力していきます。」

(左から) 安全衛生管理課 セーフティ・エグゼクティブ Shanmugan A/L Sathamparam
アシスタント・エグゼクティブ Jackson Sinau Baru

